

## 第6回『ふれあいトーク～市長と給食当番～』事業記録

1. 日時 平成20年3月14（金）

午前11時40分～午後1時10分

2. 実施校 宇都宮市立篠井小学校

○給食時懇談クラス 3年生・4年生

3. 実施内容

○4時間目の授業参観（11:40～12:25）・・・全クラスを校長先生の案内により参観

○給食当番

- ・ 給食当番の児童と配膳を実施

○食事中

- ・ 市長からのメッセージビデオ放映（要旨）

◆◆◆◆皆さんには、大きな夢を持っていただきたいと思います。

その夢をかなえるためには、一つの良い方法があります。それは、自分の人間力を高めるということです。自分の人間力を高めることによって、夢に近づくことができます。

その人間力とは、我慢をすることです。いろいろ我慢をしながら、そして自分の人間力を高めて、夢をかなえてください。

ぜひ皆さんの宇都宮、素晴らしいまちにするためにも、地域の体育祭や文化祭など、いろいろな行事に参加をしてください。◆◆◆◆

- ・ 食事をしながら、児童と対話

○児童との懇談

- ・ 質問形式で対話

◇市長さんになって困ったことや大変なことはありますか。教えてください。

⇒困ったことはね、お休みがないことです。みんなは春休み、夏休み、冬休み、今は秋休みもあるのかな。それから土日もお休みでしょう。私は土日もお休みがないし、夏休みもありません。それが大変だなあって思ったことです。

◇市長さんへお願いします。篠井にはお店がないのです。お店があると言っても駄菓子屋くらいしかありません。それで地域の人たちは篠井を離れて買い物しに行っています。

そこで篠井にコンビニやスーパーを作ってください。

⇒市長でもスーパーやコンビニは作ることはできないので、スーパーやコンビニに篠井に来てくれるように、篠井で商売を始められるように、お願いをしていきたいと思えます。もうちょっと待っていてね。

◇宇都宮市で出している「みどりはともだち」という本を読んで知ったことなのですが、どうして緑は減っているのですか。そして今後は緑を減らさないようにする計画を立てているのなら教えてください。

⇒緑が減ってきている。困ったお話ですよ。なぜ緑が減ってきてしまったのか。木がいっぱい生えている森とか林を切り開いて大きな住宅団地を作ったり、道路を通したりトンネルを作ったりしてきました。だからここまで日本という国は大変栄えてきたし、みんなの生活も便利ですよ。道路があれば便利だし、おうちがたくさんできるようになるとさっき言ったようなお店も出来るようになります。生活はどんどん便利になります。人が住めば病院も出来ます。でも一方ではそういう便利な反面、自然がだんだん減ってきました。人間が住む上で開発してきたから緑が減ってきたと言えると思うし、もうひとつは森とか林を人間が管理してこなかったせいもあります。昔は緑をしっかりと保全するために林を切ったり、古くなって大きくなった木を切っておうちを作る材木にしたりしてきました。だから新しい木がどんどん生えてきました。そういう手入れをしてこなかったがために木同士が生い茂って光が入ってこなくなったり、十分な水が行き渡らなくなったりして自然に枯れてしまったような森もたくさんあります。人間が開発をしてきたこと、手を入れて管理をしてこなかったこと、このふたつが森や林がなくなってきた原因のひとつでもあります。これからどうしようかということですが、県も市もこの自然を何とか少しでもよくして、これからは自然がないと困るから、手入れをしたり、お金を使ったりしていきたいと思っています。そこで皆さんにお願いします。ぜひ自然を守ってください。木はあまり切らないようにしてもらいたい。ティッシュペーパーとか紙も木からできていますから、簡単に捨てたりしないように、なるべく何回も使ったり、あるいはテーブルで牛乳や水をこぼしたりしたときも出来る限り、ティッシュペーパーを使わないでタオルとか雑巾とか使ってください。ティッシュペーパーは1回使うと終わりですが、タオルや雑巾は何度でも使えます。だから皆さん使い捨てというのをやめて、なるべく何回も何回も使うような工夫もしてください。それがリサイクル社会というのです。ぜひお願いをしたいと思います。

◇なぜ市長になって宇都宮市をまとめようとしたのですか。

⇒何とかこれからの宇都宮を良くしたいと思いました。なぜ良くしたいか。この日本という国、この国だけで地球上は動いているのではないのです。日本の他にもたくさんの国があります。アメリカとかカナダとか、あるいはアフリカの国々、ケニア共和国とか南アフリカ共和国、ヨーロッパの国々、フランスやイギリスもありますね、そうい

うさまざまな国、だいたい130カ国ぐらいあります。そうした国が集まって、地球上でみんな生活しています。でも先ほど言ったような環境の問題、資源がどんどん減ってきている。その資源は何かというと、食料もそうですね、あるいはエネルギー。皆さん冬になると寒いから暖房をつける、ストーブをつける、灯油を使う。ガソリンも必要です。電気も必要です。日本という国は島国で資源がほとんどありません。エネルギーも98パーセントは他の国から輸入をしています。お金を払って輸入をしている。石油もそうですね。そしてもうひとつ食料、皆さん今日も給食おいしかったですね。でもこの食料もほとんど海外から輸入をしています。そうじゃないと日本という国はやっていけません。島国でたいへん厳しい国です。そのなかの小さな宇都宮市というまちも一生懸命努力して良くしていかないと皆さんが住みづらくなってしまいます。住んでいて不便な町とかだったら嫌でしょう。バスも走ってない。車も走ってない。電気も通ってないようなそういう時代にならないように、これからも皆さんが宇都宮に住んでいて不便がないようなまちをつくっていかねばなりません。そういうまちをつくって皆さんがこれからも宇都宮に住んでいたいなあとと思う、そしてそういう皆さんを見て宇都宮のほうが住みやすそうだから宇都宮に移り住んでみようと思われる、そういうまちをつくっていきたいと思っています。そういうことがあって市長の選挙に立候補をして、そして市長にならせてもらいました。

◇宇都宮に路面電車みたいなものがつくられますが、篠井まで来ますか。

⇒今、路面電車という話がありました。皆さん路面電車って知っている人。なかなかわからないよね。新幹線とかかっこいい電車あるでしょう。ああいう電車が線路の上じゃなくて、道路の上を走るのです。もちろん道路のなかにあまり見えないけれど線路が埋め込まれているのです。ですから電車の車高が道路ギリギリに走っています。そういう電車を路面電車、LRTというのですね。その電車は篠井まで来るのですかというんですけれども、これから宇都宮の中にそういう電車を走らせていきたいと思っています。なぜなら環境の問題です。車やトラックがいっぱい走って、どんどん排気ガスを出しています。排気ガスをどんどん出していくとさっき言ったような森や自然が破壊されていってしまいます。排気ガスで木が死んでしまうのですね。木が死んでしまうのだから我々人間にも影響があると思います。環境を良くするということと、それから皆さんも大人になって車の免許を持ってどこにでも行けるようになるかもしれない。でも皆さんのおじいちゃんおばあちゃんは車の運転が出来なくなってしまう可能性があります。皆さんもおじいちゃんやおばあちゃんになったら車の運転が出来なくなってしまうかもしれない。そうなったときにどうしますか。移動するときには街中に行こうとしても、スーパーに行こうとしても足がないと困ってしまう。10キロ20キロもお年寄りになったら歩けないでしょう。子どもの時代だって10キロ20キロ歩くのはつらいでしょう。だから公共の交通、バスとかLRTというさまざまな公共交通、車でなくても生活が便利なまちを宇都宮はつくっていきたいと思っています。そのためには今のバス路線にし

でもLRTにしても宇都宮全域を通すようにしていきたいと思っています。東京とか名古屋とか大阪と変わらないような街にしていきたいと思っています。それにはちょっと時間がかかります。皆さんが大人になる頃には出来ていると思うけど、皆さんからいろいろな意見を聞いてから決めたいと思います。

**【全体との懇談の様子】**



- ごちそうさま
- ・ 後片付け後, 終了